

日本分類学会連合ニュースレター  
*News Letter published by the Union of  
 Japanese Societies for Systematic Biology*  
 No. 43 [2024年6月30日]

## 日本分類学会連合のトピックス

### 第23回日本分類学会連合公開シンポジウム

日本分類学会連合第23回公開シンポジウム「牧野富太郎と分類学—植物へのこだわりと教育普及—」が、2024年1月6日(土)にオンラインで開催されました。盛会となり、311名(事前申込数375名)の参加がありました。シンポジウムの要旨は、日本分類学会連合公式ウェブサイトの以下のURLからダウンロードできます。

<http://www.ujssb.org/sympo/index.html>

\*\*\*

### 2023年度活動報告

2023年度(2023年1月1日~2023年12月31日)における当連合の主な活動は以下の通りです。

- 2023年1月7日 第22回総会。標準和名問題検討ワーキンググループの設置を承認。シンポジウム「標準和名って何?—その歴史と現状、展望まで—」を開催(事前申込数:323名、うち最大時の同時参加者数:263名)。
- 2023年1月19日 第22回総会議事録を作成。<UJSSB:00174参照>
- 2023年6月12日 標準和名問題検討ワーキンググループの委員について加盟団体に審議を依頼。6月30日付で委員を承認。<UJSSB:00180参照>
- 2023年6月27日 第52回役員会を開催。「会にいける科学者フェス」の後援について承認。
- 2023年12月19日 生物科学学会連合第28回定例会議。
- 2023年12月25日 第53回役員会を開催。

\*\*\*

### 2024-2025年度役員・委員

<役員>

代表 藤田 敏彦(国立科学博物館)  
 副代表 大塚 泰介(琵琶湖博物館)  
 庶務 井手 竜也(国立科学博物館)  
 会計 田留 健介(東京農業大学)  
 監査 上島 励(東京大学)  
 監査 伊村 智(国立極地研究所)

<広報出版委員会>

委員長 web 佐々木 猛智(東京大学総合博物館)  
 ニュースレター 江口 克之(東京都立大学)  
 データベース 海老原 淳(国立科学博物館)  
 メーリングリスト 井手 竜也(国立科学博物館)

シンポジウム 井上 侑哉(国立科学博物館)

<ABS 問題対策ワーキンググループ>

座長 村上 哲明(東京都立大学)  
 委員 駒井智幸(千葉県立中央博物館)、荒谷邦雄(九州大学)、細矢 剛(国立科学博物館)、藤井伸二(人間環境大学)、江口克之(東京都立大学)、菊地波輝(東京都立大学)、市岡孝朗(京都大学)、岩滝光儀(東京大学)、菅原弘貴(東京都立大学)

<国立自然史博物館新設ワーキンググループ>

座長 大塚 攻(広島大学)  
 委員 松浦啓一(国立科学博物館)、神保宇嗣(国立科学博物館)、西田治文(中央大学)、村上哲明(東京都立大学)、保坂健太郎(国立科学博物館)、渡辺恭平(神奈川県立生命の星・地球博物館)、江口克之(東京都立大学)

<標準和名問題検討ワーキンググループ>

座長 瀬能 宏(神奈川県立生命の星・地球博物館)  
 委員 本村浩之(鹿児島大学総合研究博物館)、大塚攻(広島大学)、西海 功(国立科学博物館)、川田伸一郎(国立科学博物館)、渡辺恭平(神奈川県立生命の星・地球博物館)、柿添翔太郎(国立科学博物館)、駒井智幸(千葉県立中央博物館)、島野智之(法政大学国際文化学部)、新田理人(国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所)、上島 励(東京大学)、北山太樹(国立科学博物館)、仲田崇志(北海道大学)、大村嘉人(国立科学博物館)、細矢 剛(国立科学博物館)、米倉浩司(一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター)

\*\*\*

### ABS 問題対策ワーキンググループ報告

- 日本昆虫学会の「昆蟲(ニューシリーズ)」にて、江口委員が新しい連載「ABS時代の生物多様性研究の新たな地平」を開始。生物多様性条約・名古屋議定書に関連する国内外の法的措置に関する情報、具体的な手続きなどを発信していく予定。  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/kontyu/26/2/26\\_23-018/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/kontyu/26/2/26_23-018/_article/-char/ja)
- ABS対策WGの実際のABS支援事業を担っている東京都立大学 牧野標本館ABS支援チームでは、菊地波輝氏の後任として菅原弘貴氏(両生類の分類と生態が専門)を迎えた。引き続き、チームの活動にご理解とご協力を賜りたい。
- 2023年6月27日に開催された連合のオンライン役員会で、一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会より、設立準備委員会が沖縄県から委託された「日本国内における自然史標本の収集状況ならびに海外産生物標本の受け入れと管理に係わるABS

事情とその対応に関する調査」への協力依頼がなされた。そして、ABSの現状と対策についての説明は、ABS対策WGで対応することとなった。2023年8月25日にその回答書として「国立沖縄自然史博物館の海外産生物標本の受入と管理に係るABS事情と対応」を座長の村上より設立準備委員会に提出した。

- 2023年9月1日に、省庁間で議論がされているDSIの多数国間システムについて、日本分類学会連合ABS-WGの座長の村上に至急、ヒアリングをしたいという連絡が文科省より届き、回答の準備のため、9月6日に急遽ABS-WGのオンラインミーティングを開催した。そこでの議論を踏まえて9月19日に村上が文科省のヒアリングに応じた。
- なおCBD COP 15において、野生生物から得られたDSI (Digital Sequence Information) に関する利益配分については多国間のメカニズムを創設して対応することになっていたが、Ad Hoc Open-ended Working Groupでの議論では開発途上国がより多くの利益が得られることを期待してか、DSIに関しても従来通りの二国間のシステムを主張し始めているようである。今後も動向を注意深く見守っていく必要がある。

(座長・村上哲明)

\*\*\*

### 国立自然史博物館新設ワーキンググループ報告

- 沖縄県が沖縄県に所在地があるNPO法人仕事人クラブなどOSO共同企業体に対して「令和5年度国立自然史博物館誘致推進事業委託業務」委託を行った。その業務とは以下の4つの項目の調査である。OSO共同企業体は一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会代表理事・岸本健雄先生に相談され、1)の項目についてさらに本WGに調査協力が依頼された。

- 国内の自然史系博物館・大学等における標本収集に関する現状(標本の分類、標本数の推移、収集の手法(海外からの収集含む))
- 標本収集に関する各国(東アジア、東南アジア)の法規制等、ルールの整理
- 標本収集の現状及びルールを踏まえた課題の抽出及び整理
- 国立自然史博物館の設立に向けた標本収集手法の検討(研究用および展示用)

- 本WGは国内の自然史系博物館、具体的には国立科学博物館、地方自治体博物館11館、大学附属博物館7館の合計19館に対して、動植物、岩石などの標本数の10年間の推移、収集方法、収集場所(国内外)、標本群の研究者の有無、標本庫ののべ床面積などについてアンケートを実施して回答を得た。WGは回答結果に基づいて様々な観点から議論した。本WGの結果を一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会兼WGメンバーの松浦啓一先生が取りまとめてOSO共同企業体へ報告した。

(座長・大塚攻)

\*\*\*

### 標準和名問題検討ワーキンググループ報告

- 第1回日本分類学会連合標準和名問題検討WG会議を2023年11月8日に実施した。和名命名行為の現状を把握するためのアンケートを加盟団体向けに実施する方針が決定した。2023年12月25日に開催された連合の役員会にてアンケートの実施が承認された。

(座長・瀬能宏)

\*\*\*\*\*

### 日本分類学会連合加盟学会の 大会・シンポジウム情報

新型コロナウイルスの流行状況によって、様々な学会で大会・シンポジウムのスケジュールや実施方法の変更が行われる可能性があります。各加盟団体のホームページから最新情報を入手してください。

#### 種生物学会

2024年度(第56回)種生物学シンポジウム  
会期:2024年12月6日(金)~8日(日)  
会場:サントピア岡山総社(岡山県総社市)  
詳細:<https://www.speciesbiology.org/>

#### 地衣類研究会

第53回地衣類研究会大会  
会期:2024年9月28日(土)~29日(日)  
会場:いこいの村ひろしま(広島県山県郡安芸太田町)  
詳細:[https://lichenjapan.jp/?page\\_id=17](https://lichenjapan.jp/?page_id=17)

#### 日本魚類学会

2024年度日本魚類学会年会  
会期:2024年9月6日(金)~9日(月)  
会場:福岡工業大学(福岡市)  
詳細:<https://www.fish-isj.jp/event/index.html>

#### 日本蜘蛛学会

日本蜘蛛学会第56回大会  
会期:2024年8月31日(土)~1日(日)  
会場:兵庫県立人と自然の博物館(三田市)  
詳細:<https://sites.google.com/view/asjmeeting-56>

#### 日本原生生物学会

第57回日本原生生物学会大会  
会期:2024年11月22日(金)~24日(日)  
会場:KDDI維新ホール(山口市)  
詳細:<http://ds0.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~mhorijsp/index.html>

#### 日本甲虫学会

日本甲虫学会2024年次大会  
会期:2024年11月16日(土)~17日(日)  
会場:東京都立大学(八王子市)  
詳細:<https://coleoptera.sakura.ne.jp/event/event.html>

**日本古生物学会**

2025 年第 174 回例会  
会期：2025 年 1 月 24 日（金）～26 日（日）  
会場：オンライン開催（ホスト：行事係）  
詳細：<https://www.palaeo-soc-japan.jp/events/>

**日本進化学会**

第 26 回日本進化学会神奈川大会  
会期：2024 年 8 月 21 日（水）～24 日（土）  
会場：東海大学湘南キャンパス（8 月 21 日～23 日）  
神奈川県立生命の星・地球博物館（8 月 24 日）  
詳細：<https://rcies.soken.ac.jp/sesj2024/index.html>

**日本蘚苔類学会**

日本蘚苔類学会第 53 回宮崎日南大会  
会期：2024 年 9 月 6 日（金）～8 日（日）  
会場：日南市小村寿太郎記念館をメイン会場とする飫肥城下町  
詳細：<https://www.bryosoc.org/>

**日本線虫学会**

2024 年度 日本線虫学会 第 31 回大会  
会期：2024 年 9 月 11 日（水）～12 日（木）  
会場：文部科学省研究交流センター（つくば市）  
詳細：[https://senchug.org/taikai/taikai\\_files/taikai31.pdf](https://senchug.org/taikai/taikai_files/taikai31.pdf)

**日本ダニ学会**

第 33 回 日本ダニ学会大会  
会期：2023 年 9 月 17 日（火）～19 日（木）  
会場：静岡県総合研修所もくせい会館（静岡市）  
詳細：<https://acarology-japan.org/taikai/33-2024/ja/>

**日本爬虫両棲類学会**

日本爬虫両棲類学会第 63 回姫路大会  
会期：2024 年 11 月 2 日（土）～3 日（日）  
会場：兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス（姫路市）  
詳細：<https://sites.google.com/view/hsj63himeji>

**日本プランクトン学会**

2024 年度日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会  
会期：2024 年 9 月 13 日（金）～16 日（月）  
会場：島根大学松江キャンパス（松江市）  
詳細：<https://sites.google.com/view/plaben2024>

**日本哺乳類学会**

日本哺乳類学会 2024 年度（兵庫大会）  
会期：2024 年 9 月 6 日（金）～9 日（月）  
会場：兵庫県立大学神戸商科キャンパス、神戸文化ホール（神戸市）  
詳細：<https://www.mammalogy.jp/conf/2024/index.html>

**TAXA —— 生物分類学メーリングリスト**

日本分類学会連合が運営するメーリングリスト〈TAXA〉は、生物分類学に関する情報交換や討論をするためのメーリングリストで、生物分類学に関心をもつすべての方に開放されています。〈TAXA〉メーリングリストは下記の趣旨により開設されました。

日本分類学会連合は、「生物の分類学全般にかかわる研究および教育を推進し、我が国におけるこの分野の普及と発展に寄与することを目的（規約第 2 条）」として、2002 年 1 月 12 日に設立されました。現在、分類学に関係の深い 27 の学会が加盟しています。その後、本連合はこの目的に向かって様々な活動を展開してきましたが、このたび新たな事業として「メーリングリスト〈TAXA〉」を開設することになりました。このリストの趣旨は、本連合からの広報のほかに、登録会員が互いに分類学に関する情報交換や討論をするための場を提供することにあります。したがって、このリストは本連合の加盟学会の会員ばかりでなく、分類学に関心をもつすべての方に開放されます。なお、リストへの登録など管理、運営は本連合の担当者が行いますが、投稿は登録会員なら誰でも自由に行えます。多くの方が登録くださいますようお願い申し上げます。

2003 年 12 月 21 日  
日本分類学会連合  
代表：加藤雅啓

〈TAXA〉は 2003 年 12 月 13 日に開設され、2003 年 12 月 24 日午後 5 時に稼動開始しました。2020 年 4 月 1 日より新サーバーでの運用を開始しています。2024 年 6 月 20 日の時点で 789 名の会員が登録されています。入会を希望される方は、

- 1) メールアドレス
- 2) 氏名（日本語表記ならびにローマ字表記）
- 3) 所属

を明記の上、office@ujssb.org までご連絡ください。

\*\*\*\*\*

**[編集後記]**

分類連合ニュースレターでは随時加盟学会員の皆様から広くご寄稿を募集しております。原稿は江口宛 (antist@tmu.ac.jp) に電子メールでお送りください。皆様からの多数のご寄稿をお待ち申し上げます。  
(ニュースレター編集担当：江口克之)

\*\*\*\*\*

日本分類学会連合ニュースレター 第 43 号  
2024 年 6 月 30 日発行  
発行者 日本分類学会連合  
事務局 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1  
国立科学博物館・筑波研究施設内  
編集者 江口克之（東京都立大学院理学研究科）

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*